

# 学びの広場

## 子育て支援団体の紹介

今月は「子育て支援」に取組んでいる団体を紹介し  
【問い合わせ】教育課生涯学習係 ☎(83)7021

### 松田母親クラブ

松田母親クラブは、30年以上の歴史があり、1歳から幼稚園就園前の子どもと母親を対象としています。毎月、第1・3水曜日の午前10時から、主として町体育館で活動しています。

小さな子どもでも楽しめる体操や絵本の読み聞かせの他、運動会・クリスマス会などの



季節行事を通して、親子の絆を深め、子ども同士の思いやりを育てる場として活動することを心がけています。現在3人の役員が企画運営していますが、親子合わせても16人と少ないため、入会希望の親子を募集しています。お気軽に遊びに来てください。

### 親子サークル「おひさまクラブ」

おひさまクラブは、月1回のペースで寄地区の地域集会施設を利用して、5組の未就園児・母親・祖母が活動しています。

定例の活動は、お茶やおやつを持ち寄り、子どもたちは室内で自由に遊び、親は育児の情報交換や楽しい



おしゃべりをして交流を深めています。また、料理を持ち寄り、夏はお楽しみ会、冬にはクリスマス会、年度末はお別れ遠足を近くの公園や子育てセンターにお弁当持ちで出かけるという、各種行事も実施しています。寄地区以外の親子の参加も大歓迎ですので、一度遊びに来てください。

### 保育サークル「ひまわり」

保育サークル「ひまわり」は、平成11年6月に、「母親等が学習している間にその子ども達の保育を行う」という町からの依頼を受け活動を始めました。

現在は、子育て健康課「離乳食講座」、松田幼稚園、松田小学校「PTA家庭教育学級」、松田小学校「新入学説明会」等で、1回につき約2時間の保育を年15回程度実施しています。会員数は14人です。保育にあたっては「安全第一」で、常に「目配り」、「気配り」で見守っています。

泣き笑う姿は愛らしく、私達も笑みがこぼれ、癒されています。会員の中には、「自分の子どもが見てもらい助かったの



で、恩返し」と言う人もいます。関心のある方は是非入会をお願いします。

### 図書館「おひざに」

#### だこのおはなし会

おはなし会は、毎月第2・4の土曜日と第4木曜日(乳幼児)に図書館で開催しています。

内容は、絵本と簡単な素話・わらべ歌・手あそびなどを組み合わせています。それらは、乳幼児と大人を繋ぐツールです。乳幼児は保護者に抱っこ、あるいは近くに座ってその安心感の中で日本語のシャワーを浴びています。

特にオノマトペの絵本(擬音語・擬態語)「てんてんてん」、「だるまさんが」などは人気があります。「にーぎりばつちりたてよこひよこ」わらべ歌を歌い始めると、身体も自然と動き「ほっこりした」ひと時が流れます。



心の栄養ですね、図書館でリフレッシュしませんか。

### ドレミキッズ

ドレミキッズは、「しあわせを感じる心をそだてたい」、「親子のコミュニケーションを深めるお手伝いができれば」との思いから始め、15年が経ちました。その頃のキッズたちは高校生になりました。

活動は、松田町民文化センターと南足柄市文化会館で月2回、わらべ歌、手遊び、からだ遊び、読み聞かせ、英語を加えたオリジナルリトミックを行っています。

子育てって大変だけれど、日々の暮らしの中で、楽しみな



からできたらと願っています。寝る前の「よかったさがし」は超オススメです。詳しくはドレミキッズの活動をのぞいてください。お待ちしております。

### 「神山・町屋コース」(その3)

神山清水の山王社境内(写真)には、石の鳥居や種々の石造物があり、燈籠庚申塔は、平成25年の事故により倒壊したため同年再建致しました。その塔には関係者のご努力により、再建の経緯等が刻まれております。この塔には延享二年と刻まれていたことから、建立は今から約270年前の1745年で、当時このよ

### 松田の文化財探訪



《矢倉沢往還4》  
文化財保護委員  
たかしの 草

うな石塔は貴重であったようです(郷土史家・津田守一氏)。筆者は石材店さんと現物調査しましたが、石塔の表面は風化し剥離寸前の状態で、石への刻み内容は判読できませんでした。しかし、先人の調査において、寄付者と思われる21名の姓名が刻まれていたとのこと。

また当時、神山には4軒、町屋には5軒の旅籠がありました。双方に屋号として「上店・下店」があり「上店」の呼称は「かみんたな」で同じですが「下店」については、神山は「しもんな」町屋は「したんだな」です。

現在、調査継続事案ですが、神山には阿弥陀堂での「百万遍念仏」を行なっていた「念仏講」の関係者、町屋には紺屋(竹内)さんをはじめ「庚申講」の関係者がいます。町屋には、掛軸、什器、神山には、掛軸、大数珠、正徳式辰年五月(1712年)の刻みがある「鉦」の遺物があります。これらも先人の想いを今に伝える貴重なものと思います。なお、昨年11月、神山の有志のご協力により、百万遍念仏の録画保存を行いました。